

黒野地区では、一昨年に伊自良川大橋が完成し、昨年には岐阜インターチェンジが開通するなど、道路網の整備が進み、地区の基盤整備が今後益々進んでまいります。令和十一年度には岐阜薬科大学が移転し、若者人口が更に

令和8年度
黒野自治会連合会 役員

役職名	名前	所属自治会
会長	木下三千男	第一千成
副会長	郷 丈文	交人
	富田 康則	共和町
	松井 誠二	洞
理事	岩本 和仁	西畑
	武山 繁紀	栄町
	高井 勝由	五月町
	伊藤 義和	末広町
会計	池本 孝夫	多賀町
会計補佐	永井 準一	千万町
監事	吉村 文博	東下之町
	山田 修治	黒野コーポ
事務局長	郷 丈文	交人
事務局次長	郷 尚之	交人
事務局員	小島 清之	東下之町
社協主事	山本 文治	下鶴飼第三

まちづくり協議会

事務局長	岩本 修治	千万町
事務局次長	河口 嘉男	上之町

(敬称略)

平成三〇年度から、八年間に亘って連合会長を務めていただきました西垣薫会長には、長年黒野地区の安心・安全な地区づくりにご尽力をいただき、誠にありがとうございました、感謝申し上げます。



この度、連合会長に選任され就任しました第一千成団地自治会長の木下三千男です。

増加する傾向にあります。しかし、ここ二年の連合会組織を見ると、二自治会が退会し、既存の自治会会員数も少子・高齢化の影響から減少している実情を考えると、これからの連合会活動に求められる課題が山積しているように思われます。最後に、未熟な連合会長ではありますが、各自治会長さん各種団体長さん方と共働して、連合会長として務めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

黒野自治会連合会会長に就任して

黒野自治会連合会 会長 木下 三千男

くろの広報

第 303 号

発行 黒野自治会連合会
編集 事務局
印刷 ユツハシ株式会社

第三回傘寿を祝う会

実行委員長 木下 三千男

黒野校区では、令和5年度から敬老事業として「傘寿を祝う会」を開催しています。

これは80歳を迎えられる方々の、これまでのご苦労と今後の

ご健康ご活躍を祝うものです。昨年度は昭和20年4月2日から昭和21年4月1日までに生まれた方々で88名が対象者でしたが、式典のご招待状を発送したところ49名の方に参加申し込みをいただき、敬老の日の9月15日「貴久家」へご招待し、西垣連合会長、岐阜市長（代理）、平野県議、黒田市議、大塚市議の方々に祝辞をいただき、会食とご歓談をしていただきながら、余興として岐阜県民謡研究会の皆さんによる「津軽三味線」の演奏をお楽しみいただきました。

歓談中参加者のお一人にお聞きしたところ「終戦の年に生まれたので子供の数が少なく、高校入試や大学受験などではほぼ競争が無くて、のほほんと育ったから、みんな元氣ですよ。」とおっしゃっていました。

因みに、昨年度黒野校区の敬老対象者の方は1529名で、傘寿の会対象以外の皆様には、記念品を贈呈させていただきました。これからも、皆さんのご健康を祈念いたしております。



傘寿を祝う会に参加して

謝辞代表 神山 富雄

敬老の日に祝う会を開催していただき厚く御礼申し上げます。黒野地区該当者88名のうち49名が元氣に参加いたしました。

傘寿を迎えた私たちは終戦前後の昭和20年・21年の食糧難の時代にこの世に生をうけ、まさに日本の戦後80年を生き抜いてきた世代であります。同期の小学校入学生は68名で例年の半分以下でした。

敗戦後、電話も冷蔵庫もTVも無い時代から高度経済成長時代も体験してきた世代です。まさに、戦後の日本の歩みをすべて体験してきた生き証人でもあるわけですね。

今後、少子高齢化の波は避けられない時代に入っています。聞くところによりますと昨年度に黒野地区で生まれた子どもの数はわずか30数名だそうです。最後になりますが、傘寿を祝っていただきました私たちが、健康で長生きをして少しでも社会に恩返しができると思います。

祝 令和七年度表彰対象者

●黒野自治会連合会永年勤続
西垣 薫氏
(前)黒野自治会連合会 会長
勤続十六年

●黒野自治会連合会 副会長
堀田 啓二氏
(前)黒野自治会連合会 副会長
勤続十八年

●田口 勝廣氏
(前)社会福祉協議会 主事
勤続十二年

二十歳のへびくじに参加って

実行委員長

郷

丈文

今年の二十歳のつどいは93名の出席者で開催されました。参加者は艶やかな晴れ着・スーツ・袴を身にまとい、会場は華やかな雰囲気包まれていました。

式典は、ご来賓の方々や恩師の方々のお話をいただき、進行していくにつれ参加者の表情は責任感を持たれた表情へと変わられた印象を持ちました。また、黒野の未来人がここに誕生されたと感じ、私は安心感と期待感があふれてきました。

現在は、若者の減少で高齢化社会となり、黒野を担って頂ける皆さんはとても大切な方々であると実感しています。

誓いの言葉では、自分たちの将来に強い期待を抱いておられることが強く伝わり、私たちは期待に応えるべく黒野の住みよい環境を創る責務があると感じています。

最後に、西部コミセンをはじめ関係者の方々のご協力で二十歳のつどいを開催できたことに大変感謝申し上げます。

令和七年度黒野地区「二十歳のへびくじ」

まちづくり協議会

事務局長

岩本

修治

令和8年1月11日、西部コミュニティセンターに於いて黒野地区「二十歳のつどい」が開催されました。該当参加者は93名。始めに西垣薫自治会連合会長の式辞、記念品の贈呈、続いて岐阜市長(代理)及び来賓の方々より祝辞がありました。黒野小学校在籍時の恩師からのお祝いの言葉もあり、厳粛な中にも和やかな雰囲気が進められました。また、アトラクションとして黒野城研究会による黒野の歴史紹介、及び黒野城の紙芝居が上演されました。

最後に出席者を代表して、白木颯人さん、大澤良美さんによる「二十歳の誓い」があり、故郷への感謝と誇りを大切に歩んでいきたい…と力強く宣誓してくれました。



二十歳のへびくじに参加って

白木 颯人

この度は、私たち新成人のために「二十歳のつどい」を開催していただき、誠にありがとうございました。生まれ育った黒野の地で、かつての友人や恩師と再会し、言葉を交わす時間を通して、懐かしい記憶が呼び起こされるような気がしました。また、今回は「誓いの言葉」の話し手という大役をいただき、自分の歩みを振り返る大切な節目となりました。大勢の仲間の前で決意を述べる中で、大人としての責任の重さと、支えてくれる方々への感謝を改めて強く実感しています。現在は地元を離れて生活していますが、久しぶりに触れた故郷の温かさは、何よりの励みになりました。黒野での絆を心の糧にして、これからの新しい日々も自分らしく、一歩ずつ歩んでいこうと思います。最後になりましたが、このような素敵な場を作ってください、ありがとうございます。

令和7年度に実施した主な行事

●青ハト講習会の開催(黒野会館)

6月13日(金)開催 80名が受講

●黒野ラジオ体操会

(黒野小学校グラウンド、まち協)

8月3日(日)早朝から420名が参加

●傘寿を祝う会

9月15日(月)貴久家で開催

傘寿対象者88名 出席者49名

●防災訓練

10月26日(日)実施

中ブロック(13自治会)黒野城跡公園グラウンドで開催予定であったが、雨にて中止

●クリーン作戦の実施

黒野校区では単位自治会ごとに、5月の下旬にゴミゼロ運動、11月中旬にクリーンシティぎふ運動を実施

●二十歳のつどい

令和8年1月11日(日)

西部コミュニティセンターで開催

対象者185名 93名出席



黒野の変化を力に、次の一歩へ

岐阜市議会 議員
大塚 翔太

岐阜インターチェンジ開通を契機に、まちの流れが大きく変わり始めています。広域交通の結節点が生まれたことで、人や物流の動きが広がり、地域の可能性はこれまで以上に高まっています。

また、岐阜薬科大学の新キャンパス整備を背景に、ライフサイエンス分野の集積に向けた動きも進んでいます。今後は、こうした基盤を活かし、関連企業の立地につながる環境整備を具体的に進めていく段階に入っています。

一方で、将来像が見えにくいとの声もあります。だからこそ、県市連携のもと、スピード感を持って取り組みを進めるとともに、地域の皆さまと共有しながら形にしていけることが重要です。

若い世代としての柔軟な発想と行動力を活かし、黒野の新しい価値づくりに挑戦してまいります。



黒野地域の未来に向けて

岐阜市議会 議員
黒田 育宏

岐阜インターチェンジ開通から1年が経過し、企業誘致や物流の効率化、観光交流の促進など地域経済への波及効果が期待できるなど、黒野地域は大きな変化と新たな可能性の中にあります。また、地域の知名度向上にもつながり、今後の発展への期待が一層高まっています。

一方で、交通量の増加に伴う安全対策や渋滞対策、騒音・環境への配慮、無秩序な開発の抑制など、解決すべき課題も見えてきました。こうした中で重要なのは、地域の特性や歴史、自然環境を大切にしながら、計画的でバランスの取れたまちづくりを進めることです。

今後は、産業と生活が調和した魅力ある地域形成を目指し、地域の皆様の声を丁寧に反映しながら、持続可能で活力ある黒野地域の未来を築いていくことが求められています。インターチェンジを単なる通過点とするのではなく、人と人、地域と地域をつなぐ新たな交流拠点として発展させていきたいと思いますので、どうぞご協力をお願いします。



未来に向けた黒野まちづくり

岐阜県議会 議員
平野 恭子

黒野の皆様には日頃より大変お世話になりありがとうございます。

さて東海環状自動車道岐阜インターチェンジが開通し、いよいよ黒野のまちづくりが動こうとしています。そのような中で県は、岐阜羽島駅から県庁・岐阜駅・岐阜ICを結ぶ新たな交通システムLRTの導入を検討しております。「次世代につなげる県都岐阜市を中心とした交通システムの在り方検討会」も立ち上げられました。

しかしながら、まず大切なのは地域が活性化できるような、まちづくりを考えていく事でありです。岐阜に周辺地域は岐阜薬科大学の新キャンパスの整備が進められ、学術・研究施設が集積しライフサイエンスの拠点となっていきます。そしてこの地域に人が集まり賑わいができるように、企業や道の駅の誘致などを推し進めていかなければいけません。

この優れた立地特性を活かしながら、黒野地域の活性化を目指した「まちづくり」を皆様とともに推進していけるよう取り組んでまいります。

令和7年度の各種団体活動だより

黒野公民館

近年、少子高齢化や人とのつながりの希薄化、防災・防犯への不安など様々な課題が見られる。その様な中で、公民館は学びや交流を通して、人と人をつなぐ地域の拠点として気軽に利用いただける場でありたい。

●公民館講座 18講座開催

夏休み親子料理教室、似顔絵、折り紙、黒野民謡講座と親子で参加できる講座を4回開催。その他、要望があつたスマホ講座や防災・防犯・人権などの講座を開催。

●会館まつり

11月8・9日開催
会館を利用するクラブ・サークルの展示13団体と舞台発表11団体が日頃の成果を発揮。

黒野白寿会連合会

地域の繋がりが薄れつつある昨今、高齢者の共助の場として白寿会の果たす役割は大きい。主に70代〜80代会員を中心に11の単位白寿会、452名からなる小世帯(2025年度ですが、「健康・友愛・奉仕」の旗のもと多彩な活動を展開、会員の絆を大いに深めてきた。2025年度の主な活動は次の通り。

●総会と研修・福祉大会

5月大会一功労者表彰や慶祝記念品贈呈、新役員・決算・予算・事業計画等の議決、「理科の思い出」と題する棚橋正明氏の講演。10月大会一梅田共栄館長の人権講座、フオーグ集団かがり火(青山武彦氏他)の音楽演奏、北署久保智樹氏の交通安全講話、平野総合病院大野達也氏・上野陽平

●美化清掃活動

5・9月の奉仕の日と、各単位白寿会の定める地域の清掃活動(町内、神社、公園、公民館等)。

●健康活動

6・12月連合会GG大会、9・10月高齢者スポーツ教室、10月市高齢者体育大会、5・11月三代交流バタック大会、2回西部ブロックGG大会、12月2校区バタック大会等。

●友愛部活動その他

7・12月の一人暮らし会員へ慰問品配布や11月同会員の集い、友愛部員の日常的な訪問活動。また下校児童見守り活動、小学3年社会科授業でGG・昔の遊び・感謝の集い等の交流会。西部ブロック12月・2月のリーダー研修会。

会長 清水 稔

黒野青少年育成市民会議

子育て支援といたしまして、親子ふれあい教室(0歳〜1歳児を対象を岐阜大学医学部看護学科の皆さんや、地域の方々に協力をいただきまして開催しております)。

その他、防災教室・地域補導活動・青少年育成の街頭啓発活動などを行いました。

2ブロック合同の活動としまして、小中学校の児童生徒の皆さんに、地域のことや家族のルールについての作文を夏休みに募集し、11月に行われる「2ブロック健全育成大会(西部コミセン)にて、優秀作文の発表と表彰を行っています。青年ボランティア人材バンク「コネクト」では、地域活動に、協力していただける方を募集しておりますので、ぜひお声かけください。

会長 川脇 秀樹

黒野子ども会育成委員会

今年もインリーダー研修を中心に活動を行い、全部で3回実施しました。1回目は危険予知研修を行い、安全に気をつけながら周りを見て行動することの大切さを学びました。また、空いた時間にはドッジボールも行い、交流を深めました。2回目は壁新聞作りに取り組み、友だちと協力しながらより良い作品に仕上げるのができ、1月にはメディアコスモスにて展示されました。3回目はクリスマス会でリース作りを行い、賑やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。



これらの活動を通して、リーダーとして周りを思いやり、自分から進んで行動する力が身についたと感じています。その他にも、花植えや青色防犯パトロールなどの活動も行いました。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

前委員長 岩田 有加

黒野民生委員児童委員協議会

●黒野児童館行事に協力

母親が児童館で、ヨガクラブ(月1回・親クラブ(隔月1回)を体験中に託児を実施

●「ひとり暮らし高齢者の集い」に協力

ちびっこまつり(3月13日)に参加協力

●赤い羽根共同募金運動に協力

社協黒野支部協賛で10月4日に実施

●10月から法人共同募金運動を実施し、7年度は34の地域の企業や商店の皆様から、あたたかいご協力を賜りました。

●高齢者宅防火訪問を実施

11月から順次、消防署員と共に各担当地区のひとり暮らし高齢者世帯宅と確認

必要な高齢者世帯宅を防火訪問

●黒野小こどもまつりに協力

土曜授業(11月15日)の一環として行われている行事で、3・4年生に「工作あそび」を企画し、当日は制作の補助活動

会長 上村佳代子

岐阜市北消防団 黒野分団

平素は黒野分団の活動にご理解とご協力いただきまして深く感謝申し上げます。岐阜市北消防団黒野分団本部が御望器具庫と合築となり、下鶴飼稲置に移転建て替えしました。



新しい団本部は、平常時には訓練や研修の拠点として、災害時には迅速な出動と情報共有を行うための重要な基地となるものであります。この施設の整備により、これまで以上に効果的で実践的な訓練を重ねることができ、地域の皆さまの生命と財産をお守りする体制の一層の充実が期待されます。

社会情勢や働き方の変化もあり、消防団員の確保が年々難しくなっていますが、今後起こりうる大規模災害に備え、消防団が果たす役割は極めて重要と考えています。

分団長 西垣 浩

黒野水防団

令和7年度黒野水防団活動報告

日頃は水防団活動にご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、黒野水防団は地域の皆様を水害から守り、地域の生命・財産を守るべく各自自治会から選出された75名で活動しております。

令和7年度は、5月に岐阜県主催の「未曾川水防連合演習」、6月には岐阜市主催の「岐阜市水防連合演習」、同じく6月に岐阜市北部16水防団開催の「連合演習」に参加しました。

その際披露する工法である「杭打ち積土のう工」の訓練を団単独で折立話所にて合計2回行いました。

また、5月には当団が当番団として、岐北中学校で開催される予定でした「命を守る訓練」は残念ながら中止となりました。

10月、黒野小学校の社会科出前授業で「黒野の水防を学ぶ」水防団とは」の講義を団長及び副団長で行いました。さらには、10月開催予定であった「市民運動会及び「地域防災訓練」も昨年度は中止となりました。

今後とも黒野水防団に對するご協力を賜りますようお願い申し上げます。



団長 神谷 善彦

令和8年度 黒野水防団 活動予定

4/26(日)	入団式 第1回 訓練「積土のう工」
5/16(土)	岐北中学校「命を守る訓練」参加「土のうづくり伝達」
5/17(日)	第2回 訓練「積土のう工」
5/24(日)	岐阜市水防連合演習参加「積土のう工」披露
6/7(日)	岐阜市北部16水防団訓練リハーサル(当番団として確認)
6/13(土)	岐阜市北部16水防団訓練前日リハーサル(北部16団の団長出席予定)
6/14(日)	岐阜市北部16水防団訓練【当番団として主催】「積土のう工」披露
10/下旬	黒野校区地域防災訓練 参加
11/初旬	黒野校区文化祭 準備及び撤収作業

黒野青年OB会

「すべての一歩は参加から」

自分の人格や深層心理を見つめ直すために、積極的に「人権学習講座」に参加してきました。自分を豊かにしたいなら、他人を素直な気持ちで受け止めることです。いかに自然が好きでも、必ず人との接点を持つて生きていかなければなりません。今、世界がとても不安定です。自分に向けての願い事ばかりしているからです。無心に手を合わせる時、だからのために祈っています。今こそ人と人を学ぶ学習を積み上げたいものです。

まずは自分からと思つて人権学習に参加しています。人の心を揺り動かすためには、その価値を持った芸術に触れることです。「これを読んでこうなった」とか「これを聞いてこうなった」という実例をより多く体験することです。そんなチャンスを与えてくれる行事の数々。参加することから、その一歩が始まります。出席してみてください。そこで話してください。一緒に心の奥に湧きあがるワクワクを味わいませんか。

会長 田中 昭彦

黒野スポーツ少年団

スポーツで人を思いやる心を育てよう

黒野スポーツ少年団は現在、バレー、柔道、サッカー、バドミントンの4クラブで活動しており、全国員数は約80名です。令和7年度の活動は各クラブで日頃の練習や試合の他に、夏にはキャンプや交流会等の活動を行いました。9月にはグラウンドゴルフ大会、11月には黒野校区歩け歩け運動大会、12月には各クラブで使用している施設の大掃除、1月には餅まき、大縄跳び大会、2月には6年生の卒団ボウリング大会を実施いたしました。今後とも子供達に熱い声援をお願いします。各クラブでは年間を通して見学、体験、入団の募集を受け付けていますのでお気軽にご相談ください。

会長 勝目 浩行

令和8年度 黒野自治会連合会の主な行事予定

月	日程と行事内容	開催場所等
6月	1日:【くろの広報】303号の刊行	全戸配布
	12日:青バト講習会	黒野会館
	13日:各種団体長と合同会議	黒野会館
7月	4日:コミュニティバス20万人達成記念式典	
	9日:校区民生・児童委員協議会の合同研修(杜協)	
8月	2日:黒野ラジオ体操会(まち協)	黒野小グランド
9月	20日:傘寿を祝う会	貴久家
10月	25日:防災訓練(西ブロック自治会)	
	31日・11月1日:黒野会館まつり	黒野会館
11月	7日・8日:文化祭	
	中旬から下旬:クリーンシティぎふ	各単位自治会
1月	10日:二十歳のつどい	西部コミュニティセンター
	資源分別回収(毎月第2土曜日)	各単位自治会
	地域安全パトロール	校区巡回
	人権学習会	各単位自治会
	岐阜大学医学部看護学科の実習	
年間	認知症介護予防教室(8月・9月 杜協)	
	ひとり暮らし高齢者のつどい(10月 杜協)	

日赤奉仕団黒野分団

赤十字の博愛・人道の精神に基づき、老人施設の清掃など社会福祉活動を実施。黒野分団は町内から選出された団員とボランティア団体併せて29名が所属。

あそか苑清掃ボランティア

毎月第2金曜日の9時から2時間程ホールや各部屋、トイレなどの清掃活動を実施。

高橋尚子ぎふ清流マラソン

開催日27日の前日に、ゼッケンを渡すなどメモリアルセンターで受付ボランティアを実施。

献血運動の推進

12月21日 人の命を守る理念のもと、マササ21でティッシュを配付し、献血運動啓発活動実施。

防災訓練

10月26日雨で中止 救命救急講習や事前打ち合わせをして、防災訓練に備えたが雨で中止。

NHK海外たすけあい募金活動

12月2日 国境を越えて人々の命と健康を守る支援としてNHKの募金活動に参加。

その他

5月と3月の総会で事業計画と予算、事業報告と収支決算を審議。又、公民館主催の「家庭の防災力を高めるための防災講座」や「防災食(乾缶簡料理講座)」に参加。

分団長 黒田富貴子

黒野女性防火クラブ

防火クラブは、本部役員と各町内2名ほどの役員の70名ほどの皆様で活動しています。内容としては、毎月1日又は15日に消防団の協力のもと、消防車両に乗り、各町内の委員の皆様と一緒に乗っていただき、黒野地域の広報活動をしています。年度初めの総会では、黒野消防署の職員の方にお話をいただいています。

町内の数人の方には、市の女性防火クラブ運営協議会主催の指導者講習会に出席いただき防災について学んでいます。

本部役員の皆さんで消防団の特別点検や出初めに参加激励にうかがっています。

自治会で行われている防災訓練のある時は、参加協力させていただいています。皆様の協力をお願いします。

野々村恵子

体育振興会

令和7年度は、6年ぶりの校区市民大運動会の実施でしたが、残念ながら雨により中止になりました。校区民期待の一大行事でした。令和7年度黒野体育振興会活動報告

令和7年度黒野体育振興会活動報告

第48回町内対抗グラウンドゴルフ大会

6月1日 優勝 下鶴飼第3Cチーム

2位 交人Aチーム

3位 下鶴飼第2Aチーム

各種団体親睦グラウンドゴルフ大会

8月31日 優勝 交通安全Aチーム

2位 黒野自治会連合会Aチーム

3位 白寿会連合会Aチーム

第49回町内対抗グラウンドゴルフ大会

11月2日 優勝 鶴飼団地Aチーム

2位 共和町Aチーム

3位 下鶴飼第2Bチーム

校区歩け歩け運動大会

11月23日 253名参加

モルック・ボッチャ体験会

12月7日 モルック・ボッチャ・ラダーゲッターの体験会を実施

町内対抗卓球大会

2月15日 優勝 共和町チーム

2位 古町チーム

3位 第2千成チーム

地域のたくさんの方々の参加ありがとうございました。

笹田 良司

岐阜北交通安全協会 黒野支部

令和7年度の活動報告

街頭啓発活動(年間)

年17回、延べ1700名が早朝、薄暮の街頭啓発を実施。

交通安全教室

黒野小学校の3年生、4年生を対象に「正しい自転車の乗り方」教室を実施。

交通安全施設の点検・整備

自治会委員73名、岐阜大学20名、役員27名、総勢120名でカーブミラーの点検を実施。校区内の22本の交通安全看板の補修・設置。計50本の交通安全ののぼり旗の交換・設置。

自治会及び各種団体との連携

ラジオ体操会の交通安全整理、黒野歴史探訪の交通安全・安全対策、歩け歩け大会の交通安全整理、二十歳の集いの駐車場整理・交通安全啓発グッズ配布、優良運転者の表彰交付。

高齢者に対する啓発活動

「ひとり暮らし高齢者のつどい」の会場や高齢者世帯を訪問して反射材などの交通安全啓発グッズの配布。

支部長 伊藤 英雄

防災士の会

防災士の会は、令和6年7月発足しました。黒野連合会内の組織であり、自主防災隊に所属して活動を行っています。令和7年度は、次のような活動を行いました。



防災士としてのスキルアップ研修・防災倉庫点検・器具取り扱い研修・黒野小学校での「防災教室」の開催。防災教室では、5年生児童を対象に様々な体験型学習を行いました。そして、黒野会館主催の防災士久世和明さんによる講座への参加。講座では、阪神淡路大震災における救助活動の体験談や身近な防災対策について、ご教授いただきました。秋の防災訓練は、悪天候により中止となりましたが、黒野小体育館において避難所開設・運営訓練を予定しておりました。私たち会員は、岐阜市の防災士フォローアップ研修会を始めとした様々な講座に参加するなど、日頃から自己研鑽に励んでおります。防災士の会では、一緒に活動してくださる方を募集しております。性別や防災士資格は問いません。ご参加くださる方を心よりお待ちしております。

会長 山本 文治